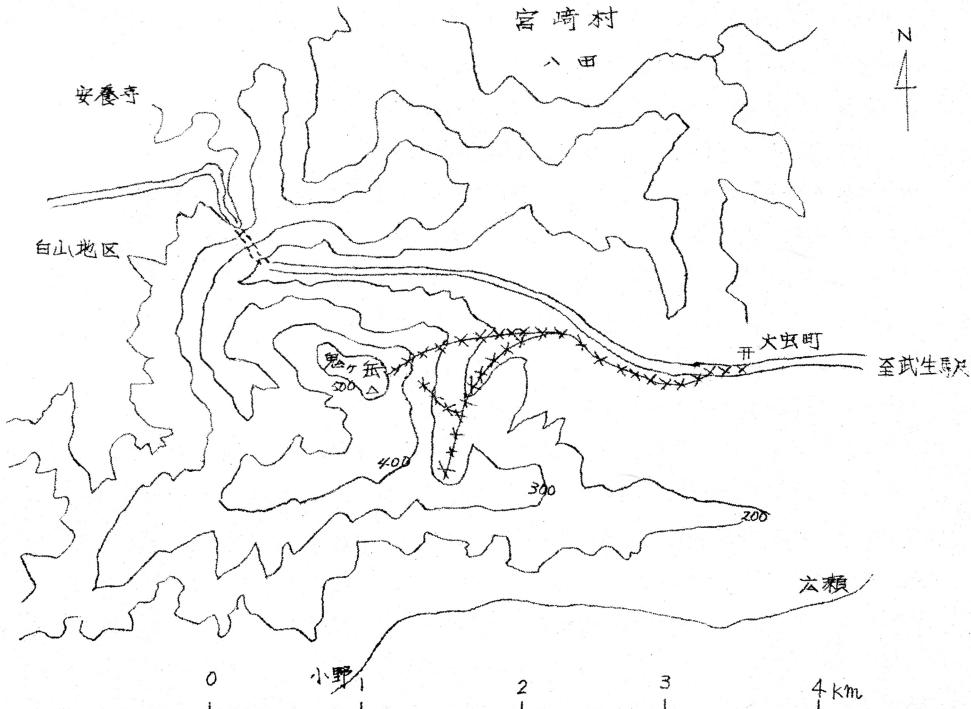


ギボウシ、ハイタムラソウ、サトメシダ、カラスザンショウ、ヤマアイ、マツカゼソウ、ミヤマカタバミ、ノガリヤス、スミレサイシン、アカシヨウマ、クロモジ、ヒメヤシヤブシ、ウリカエデ、ハシカグサ、サラシナシショウマ、カナクギノキ(越前にはない)、コマユミ、ミカエリソウ、ミヤマベニシダ、タチネズミガヤ、ヤマイヌワラビ、ゴマナ(ここより南方には見当らぬ?)、ナツツバキ(開花中)、ミヤマハハソ、ヤブニツケイ、ツチアケビ、イワナン、サイコクミツバツツジ、(越前にはない)、ミズナラ(高度約400mで出現)
タムシバ、ソヨゴ、イチヤクソウ、ベニドウダン、アマヅル、イモノキ、アセビ(極めて多い)
ハウチワカエデ、コハウチワカエデ、バイカオウレン、ヤブデマリ、イワウメヅル、オオモミジ、オオバアサガラ、

(寒蝉義一記)

武生市鬼ヶ岳植物採集記



昭和34年10月25日、武生市の大虫地区と白山地区の境にある鬼ヶ岳(Ca532)の植物採集を行つた。

指導者 堀芳孝、寒蝉義一の両先生

参加者 八田弘、山田一郎の両氏と三村、当日はいろいろの行事があり参加者の少なかつたことは残念である。

5名は武生市役所前発8時45分の厨行のバスに乗り大虫神社前で下車した。大虫神社から鬼ヶ岳の麓までの道には、ヤブソテツ、オニヤブソテツ、シケンダ、クマワラビ、ヒメシダ、ワラビ、ツリガネニンジン、ダイコンソウ、イヌタデ、ハナタデ、ヒヨドリジョウゴ、シカイ等が見られた。

山道にはいると、イソノキ、ハコヤナギ、ミヤマガマズミ、コバノガマズミ、コバノトネリコ、サワフタギ、ウワミズザクラ、キンキマメザクラ、サイゴクミツバツツジ、レンゲツツジ、ヤマツツジ、イヌザンショウ、アサクラザンショウ、コナラ、クリ、コウヤボウキ、コアジサイ、クヌギ等の木本類、チゴユリ、タチドコロノギラン、ヒヨドリバナ等の草本類、ヒカゲノカズラ、トウゲシバ、シシガシラ等のシダが見られた。

山を登るにつれて、ベニドウダン、マルバマンサク、クロモジ、アオハダ、ザイフリボク、ウラジロノキ、ウスギヨウラク、ネジキ、ネズミサシ、リョウブ、ソヨゴイワナシスノキ、アクシバ等の木本類と、リンドウ、カリヤス、ミヤマアブラススキ、オオバノトンボソウ等の草本があらわれた。この山にはベニドウダンが非常に多い。頂上近くになると、ナツツバキ、クロソヨゴイヌツゲ、ヒメモチ、ミヤマシキミ、ヒウガミズキ、タムシバ、ムシカリ、ミズナラ、ヤマボウシ、ユキツバキ、カンアオイ、ミヤマママコナ、ツルアリドウシ等が見え、頂上になる、エゾユズリハ、ウラジロレンゲツツジ、タニウツギ、ムラサキマユミ、ハウチワカエデ、ウリハダカエデ、マツブサ、ハリガネワラビ、オトコエシが見られた。

帰りは炭焼路を通り谷に出た。その途中には、ハイネズミガヤ、ダンコウバイ、ヒメヤシヤブン、ケンボナシ、イモノキ、コシアブラ、キブシ、ホウノキ、シロダモ、クロソヨゴの大木、セマコウバシ、コウゾ、モミジイチゴ、ナガバモミジイチゴ、ニガイチゴ、ミヤマフユイチゴ、ビナンカズラ、イチヤクソウ、ゴマナ、ヤマボクチ、キクバドコロ、エビネ、イワウチワ、クサボタン、フモトシダ、ベニシダ等が採集された谷に出るとヤブデマリ、ミカエリソウ、ノリウツギ、サワアシサイ、ヤブムラサキ、ムラサキシキブ、アブラチヤン、イヌガヤ、イヌンデ、アカシデ、オオカマツカ、カマツカ、コブシ、ナラガシワ、ウツギ、イボタノキの木本、サンカケズル、イワガラミ、ツタウルシ、の藤本、サンインヒキオコシ、ミヅソバ、オオミヅソバ、アキノウナギツカミ、ナツトウダイ、タカトウダイ、ミズタマソウ、アケボノソウ、ドクダミ、マツカゼソウ、アキカラマツ、チャルメルソウ、コチャルメルソウ、ヤマトウバナ、アカリ、トリアシショウマ、ホクリクネコノメソウ、オトギリソウ、コケオトギリ、キンミズヒキ、アキギリ、トダシバ、アイバソウ、スミレサイシン、ニガクサの草本

ヤマソテツ、オオバノハチジョウシダ、オオクジヤクシダ、ミヤマベニシダ、クジヤクシダ、ヤマイヌワラビ、カラクサイヌワラビ、イヌワラビ、サトメシダ、トガリバメシダ、シケンシダ、イヌガンソク、イノデ、サカゲイノデ、ジユウモンジシダ、イワガネソウ、イワガネゼンマイ、キジノオシダ、オオキジノオシダ、ミヅシダ、ウラジロ、等が見られた。

鬼ヶ岳の西の方(白山の方)の谷では、アサマツゲ、シラキ、アカガシ、ネナシカズラ、サラシナナショウマ、サワギキヨウマ、サワギキヨウ、シユロソウ、トキホヨリ、ミヤマイラクサ、ウリノキ、ノブキ、ミヤマベニシダ、ヤマヤブソテツ、タニイヌワラビ、コバノイシカグマ、ナライシダ、オニヒカゲワラビ等が見られた。

最後に熱心に御指導して下さつた、堀、寒蟬の両先生に深く御礼申しあげます。

(三村定路記)